

新年臨時議員総会開催

去る二月三日(土)当所四階大ホールにおいて臨時議員総会を開催しました。

開会に先立ち藤田会頭より、「新発田商工会議所も「地元産業の振興」と「街づくり」を最優先課題としてとらえ、昨年十一月には大栄町に県・市の支援をいただきながら中心商店街の空き店舗を活用し、敬和学園大学と商店街が連携し事業を行う、まちの駅よろず「新発田学研究センター」を開所することができました。このセンターでは学生と市民の交流や共同作業を

通して、商店街の活性化や高齢者問題そして新発田の歴史を調べ発信する事業を産・学・官の連携により展開させてもらっております。また、会議所では現在、地域資源を活かした新事業全国展開支援プロジェクトに取り組んでおり、「露谷虹児」をイメージした新商品開発事業の研究を行っており、この事業には東京で活躍される地元出身のデザイナーはじめ関係者より協力をいただき、最終的には市内の企業に参画いただき、新発田発のオリジナル商品を

を発信してゆく予定です。また、青年部が先般開催しました「第三回城下町しばた全国雑煮合戦」も昨年以上の成果を出すことができ、新発田の冬のイベントとして定着したものと考えております。今後とも青年部並びに関係者の活躍に期待するところであります。

よりいつそう相談・支援体制を強化し、地域中小企業の皆様の頼れるパートナーとなつてまいりたいと思えます。」と挨拶。その後の議題を審議し、上程された議案全てが承認されました。

さて、従来から行っております「経営革新」に意欲ある方々を支援するための相談機能の充実をはかることはもとより、事業所の立場に立った支援をすべく事業を展開しておりますが、まだまだ、相談内容が多岐にわたるため、全てに対応しきれない面もあります。が、関係機関と連携により、

「地元産業の振興」と「街づくり」を最優先課題としてとらえ、昨年十一月には大栄町に県・市の支援をいただきながら中心商店街の空き店舗を活用し、敬和学園大学と商店街が連携し事業を行う、まちの駅よろず「新発田学研究センター」を開所することができました。このセンターでは学生と市民の交流や共同作業を



新 議 員 選 出

小売商業部会長

去る一月二十六日(金)に開催された小売商業部役員会において、新会長に山口時計店社長・山口茂氏が選出されました。

小売商業部会長
山口時計店 社長
山口 茂 氏



なお、二月三日(水)開催の議員総会において、新議員の選出が行われ、一号議員にはさくら製菓社長・寺尾綾氏が選出され、承認されました。



一号議員
さくら製菓(株) 社長
寺尾 綾 氏

片山市長へ 中心市街地活性化条例 の制定を要望

去る二月十五日(木)、市役所庁舎において、当所藤田会頭より市民参画による「まちづくり条例」や「景観条例」等いくつかの条例制定を進められている中、中心市街地活性化に関する条例の制定にあたり、「地域コミュニティへの貢献」「地域事業者との連携強調」「地域固有の文化や伝統の継承」、そして「安心・安

全なまちづくり」のために実施される各種事業への積極的参加・協力については、大型店等に実効性のある地域貢献を促すことを中心市街地活性化に関する条例の中に盛り込んでいただくため、片山市長へ要望書を提出し、意見交換を行いました。

「地域固有の文化や伝統の継承」、そして「安心・安

